

国際がん研究機関 (IARC) の概要と発がん性の分類

○IARC

国際がん研究機関(International Agency for Research on Cancer, IARC)は、国連世界保健機関(WHO)の専門機関の一つ。がん研究に関する国際的な調和の促進を目的とする。

○IARC による発がん性の分類(2016年6月15日時点)

グループ1 (118種類) ※	ヒトに対する発がん性がある。 (Carcinogenic to humans) 例) アルコール飲料、ベンゾ[a]ピレン、ベンゼン、アフラトキシン等 ・ヒトへの発がん性について十分な証拠がある場合
グループ2A (80種類) ※	ヒトに対しておそらく発がん性がある。 (Probably carcinogenic to humans) 例) アクリルアミド、亜硝酸塩等 ・ヒトへの発がん性については限られた証拠しかないが、実験動物の発がんについては十分な証拠がある場合
グループ2B (289種類) ※	ヒトに対して発がん性がある可能性がある。 (Possibly carcinogenic to humans) 例) わらび、漬けもの、鉛等 ・ヒトへの発がん性については限られた証拠があるが実験動物では十分な証拠のない場合 ・ヒトへの発がん性については不十分な証拠しかないあるいは証拠はないが、実験動物は十分な発がん性の証拠がある場合
グループ3 (502種類) ※	ヒトに対する発がん性について分類できない。 (Not classifiable as to its carcinogenicity to humans) ・ヒトへの発がん性については不十分な証拠しかなく、実験動物についても不十分又は限られた証拠しかない場合 ・他のグループに分類できない場合
グループ4 (1種類) ※	ヒトに対する発がん性がない。 (Probably not carcinogenic to humans) ・ヒトへの発がん性はないことを示す証拠があり、かつ実験動物についても同様な証拠がある場合

・ヒトに発がん性があるかどうかの「根拠の強さ」に基づく分類であり、物質の発がん性の強さや暴露量に基づくリスクの大きさについては考慮せず